

出展者の声：ウルトラエックス株式会社
CEBIT を知ったきっかけとは？



ウルトラエックス株式会社
技術部 部長
村上 千佳 様
(聞き手：ドイツメッセ日本代表部 竹生)

以下敬称略

竹生

今回の CEBIT 出展に際し、どんな立場でどのような役割を果たされたのでしょうか。

村上

私は現在スマートフォン関連の開発を担当しています。

それと同時に、IoT を推進する立場でもあります。

私どもウルトラエックスは秋葉原にある会社で、ものづくりのメッカに存在しており、その恩恵もあって、弊社はソフトウェア、ハードウェアのいずれに対しても、技術や発想力を持つ集団です。

今回は弊社のテクノロジーを活用し、IoT の分野で新しい教育のジャンルを開拓したいと考え、やってきました。

弊社の「ハンダと C 言語が学べる 模型ドローン工作キット ULTRA Drone Kit type Educational」はドローンという興味を惹きつける題材を通じてハンダとプログラミングの双方を同時に学ぶことができる全く新しいソリューションです。

キットの名の通り、ドローンをプラモデルのように組み立てる形式で、自分で「ハンダ付け」して組み上げたものにマイコンを取り付け「C 言語で」プログラミン

グを組み込みプロペラを制御します、組み立てをしながら学習できるようにしました。

例えば、学校や企業の新人研修などで使えるようになっていて、ソフトウェア、ハードウェアの垣根を超えてものづくりを教えられるソリューションです。

ハンダとC言語が同時に学べる教育ソリューションおよびアイデアは世界で初めてではないかと考えています。

竹生

今回、CEBITに出展する前、業務上でどんな課題をお持ちでしたか。

村上

このソリューションは普段の業務とは少し異なるノウハウも取り入れ、私どもの考え方や発想力を目に見えるよう具体化するために作りました。

普段の業務では、従来どおりにお客様の要望にきちんと対応しつつ、それにプラスアルファの時間をかけてこのソリューションを作り上げることになりました。

通常業務の品質を落とさずチャレンジする部分はやはり大変なポイントでした。

竹生

CEBITを知ったきっかけはどこにあったのでしょうか。

村上

弊社の代表がジェットロ様から打診をいただき、その内容を私が受け取った結果、ぜひ出したいと思って出展を決めました。

竹生

CEBITに出展を申し込むまでに、何かためらったり障害になったりしたことはありましたか。

村上

私どもにとって教育は新しい分野です。

弊社の得意とするところとも少し外れています。

教育のため、あるいはカリキュラムとして必要なことは、独自で学ばないといけません。

ここまで来るにはやはり大変な苦労がありましたが、ようやくすべてを賄えるソリューションに仕上げることができたと自負しています。

竹生

そういった障害はどのようにして解決したのでしょうか。

村上

結論からいうと、独自調査やものづくりの経験を生かしたことになります。

でも、それをどのようにしてソリューションに組み込み、新しい世代に伝えていくのかは、弊社のメンバーからも意見を頂いては手直しを繰り返し、試行錯誤しながら考えました。

結果としてはチームワークで解決できたのではないかと考えています。

出展して感じたメリットとは？

竹生

今回の CEBIT 出展の決め手となったのは、どんなことでしたか。

村上

私自身が持つ日本だけでなく、世界へものづくりを広めたいという思いの強さが、最終的に出展を決めさせたのだと思います。

ものづくりや IoT は決して日本国内だけで完結するものではありません。

世界に向けて推進していくことがこれからの時代、必要不可欠になってくるでしょう。

その発信元が日本人、そして日本のテクノロジーでなければならないという思いは、これからもそうですし、永遠に持ち続けていくべきものだと思います。

その思いが決め手になったのではないのでしょうか。

竹生

実際に出展してみてメリットはありましたか。

村上

CEBIT という大きな舞台で、多くの方の目に触れて頂き、

とてもたくさんの反響をいただきました。

販売ビジネスや実際の教育の現場でカリキュラムとして使いたいというお客様もいました。

まだ発売準備中の展示品にもかかわらず、「今日どうしても欲しい」とか、「その場で持って帰りたい」というお客様がほとんどだったのです。

その反響の大きさから、ドローンをはじめとした IoT の先進技術がとても大きな潜在能力を

持つ分野だということであらためて実感しました。
それが最も大きな成果だったと思います。

竹生

最後の質問になりますが、CEBIT 出展を考えている方へ何かメッセージをお願いします。

村上

CEBIT はやはり、世界有数で3本の指に入る展示会です。
来場者の熱も高く、ビジネスにつながる可能性がとても大きいように感じました。

遠方だからという考え方は捨てていただき、出展する価値のある展示会、とてもエキサイティングな展示会だと受け止めてほしいと思います。大事なことはチャレンジです。
だから、積極的に参加してもらえたらいいと考えています。